

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目7番5号） 電話：（41）1551



写真は議場風景

平成15年第1回定例会は、2月27日から27日間の会期で開催されました。開会初日には、平成15年度各会計予算など、31件の議案・報告等が上程されるとともに、市長から平成15年度の市政運営方針が披瀝され、それに対して5人の議員から大綱質疑が行われました(2、3頁に掲載)。これら各議案は予算審査特別委員会及び各所管委員会に付託され、いずれも原案どおり可決されました。

また、3月20日・24日の2日間は、6人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました(6、7頁に掲載)。そのほか、今定例会では、議員提出議案の意見書などが可決され、関係行政庁に送付されました。

平成15年度当初予算 (△はマイナス)

項目	金額	前年度比(%)
一般会計	503億 円	△9.0
特別会計	国民健康保険事業	132億2,925万6千円 3.4
	老人保健事業	114億7,724万6千円 △3.8
	公共用地先行取得事業	5億6,814万4千円 △2.6
	公共下水道事業	43億9,264万3千円 △14.8
	市街地再開発事業	11億1,489万8千円 46.3
	介護保険事業	66億6,806万7千円 5.2
	水道事業会計	51億 220万7千円 △3.9
病院事業会計	93億5,273万1千円 15.7	
合計	1,022億 519万2千円	△3.8

平成15年度当初予算を可決
 総額一、〇二億五一九万二千元（前年度比三・八%の減）

大綱質疑

開会初日の2月27日に、市長より平成15年度の市政運営方針が述べられ、これに対し、5人の議員が各会派を代表して大綱質疑を行いました。

ここでは、紙面の都合上、一部要約して掲載しています。

公的責任・公共事業見直し 同和行政終結について

【議員】行財政運営の効率化をすすめると言ったが、保育園の民営化など、民間委託をすすめることが中心で、自治体としての存在意義を否定し、「公的責任」を投げ捨てるものではないか。また、公共事業の見直しでは、府中駅前再開発は、「事業費の削減や負担の平準化」としているが、横尾川ダムは早期完成をめざ

すという。同じように見直し・凍結を検討すべきではないか。法律が切れ一年が経過したが「同和行政」を終結する考えはないのか。

【市長】分権時代のまちづくりや公共サービスは、「公」と「民」との役割分担を明確にし、市として主体性をもつてすすめる。公的責任を放棄するものではない。公共事業の見直しは様々な観点から慎重に対応する。同和行政は人権問題という本質から捉え、解決にむけ施策を推進し、「人間都市・和泉」を目指したい。

中長期の財政・行政評価の 取り組みについて

【議員】国内の経済は未だ好転の兆しが見えず、また国の財政も大変厳しい状況が続いている。このような状況の下、地方財政も大変圧迫されている。今後、基金の枯渇、交付税の不足も予測される中どう対応していくのか、財政計画及び見直しについて伺いたい。また、今後の行政評価の

取り組みについても伺いたい。

【市長】昨今、地方を取り巻く財政環境が非常に厳しい中で、将来にわたり健全な財政運営を堅持していくために歳入面では自主財源、特に税財源の拡充を、歳出面では限られた財源の効率・効果的な活用を強く推し進めていきたい。また、行政評価については、実効性のある行政評価制度の定着を目指し、「自己評価を通して」「行政の質や効率性」を高め、今後「成果重視の

都市市街地の道路整備と 学校教育の充実について

【議員】新市街地だけでなく市民生活に密着した旧市街地の狭隘道路について、道路の拡幅や溝にふたをする等、道路整備問題を行政が積極的に問題解決に当たっていただきたい。

【市長】道路整備事業は、関係者のご理解、ご協力のもと問題を整理し、精力的に取組み、市民生活が安全かつ快適に送れるよう道路

行政を推し進めていきたい。

【議員】小中学校等の学力が低下していることについて危惧している。生徒をとりまく環境の整備を含め、学力向上を目指した具体的な施策を示していただきたい。

【市長】子ども達に対する指導方法の工夫・改善の取組み、また、学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもへの学力向上に向けて連携して子育ての推進を図っていききたい。



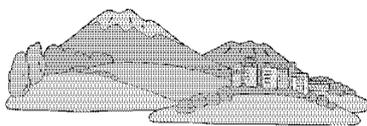
市町村合併について

【議員】まさに時代は、市町村の再編成期に差しかかっており、全市町村の3分の2が、協議・研究を進めている。本市でも、昨年、泉北2市1町広域行政研究会（本市、泉大津市、忠岡町）を組織し、本年1月に調査報告書が提出された。私は、合併決定の主役は、地域住民であり、市民と

の合意形成は不可欠だと考える。本市では、どのような手段をもって市民の意向を汲み取るうとしているのか。

【市長】昨年から2回にわたり、「研究会だより」を配布するとともに、合併に関する意見の募集も行っている。今後、21世紀の地方行政を担う自治体のあり方について、当研究結果を活用し、国の動向や、周辺自治体の動きを見極めてつつ、市民や議会の意見を踏まえながら、慎重に対応していく。

行政への転換」「行政の説明責任の向上」に努めていく。



駅前再開発と
JR和泉府中駅について

【議員】事業規模、駐車場等の見直しや縮小がなされ、実態が見えにくくなっている。今後の進捗と着工時期は。【市長】平成15年度には事業協力者を公募し、事業計画

の見直しを行い、16年度を目標に管理処分計画の策定、17年度にはビルの工事着工ができるよう努める。

【議員】駅舎の南側への移設をJR側が検討している前提で問うが、改札口はどの辺になるのか。東西の改札口の設置は。橋上駅としてバリアフリー法に基づく対策は。着工は再開発と同時に考えていい

かな無条件受け入れと、大量破壊兵器の全面破棄を国際社会に明確に示すべきである。

【可決 全会一致】
イラク問題の平和的解決を求める決議

イラクに対する大量破壊兵器査察は、湾岸戦争終結を定めた1991年の国連安全保障理事会決議に基づくもので、障理事会決議に基づくもので、核、生物・化学兵器、弾道ミサイル等の大量破壊兵器を国際監視下で無害化するものである。イラクは、この暫定査察の日々を「最後の機会」と捉えて全面的な協力に転じるべきであり、国際査察の速や

決議
意見書

次が提議の全文。決議書は、意見書の議決結果を定めた。決議書は、各案の議決結果を定めた。決議書は、各案の議決結果を定めた。

現在、アメリカによるイラク攻撃を招こうとしているが、空爆等により実際に被害をつけるのは無辜の市民であり、武力攻撃は極限まで回避の努力がなされるべきである。そのために、

国連監視検証査察委員会の人事面や技術面を大幅に強化するなど、あくなき戦争を回避する道を探り続けるべきである。

よって本市議会は、イラクに対して、国連の査察への無条件の協力を義務づけた国連安全保障理事会決議1441の厳格な遵守を強く求めるとともに、わが国政府が、イラク問題の解決のための真摯な外交努力を続け、さらに、平和的な解決のた

のか。また、情報公開の徹底を求める。

【市長】駅舎は橋上化し、現駅舎より南側に移設。東西に自由通路を考えている。バリアフリー法の趣旨を踏まえてエレベーター、エスカレーターを設ける。時期は再開発事業と併せてJRと協議する。また、情報の提供に努める。

めに、国連を中心として国際社会が一致協力することを強く訴えるものである。以上、決議する。

司法改革に関する意見書
「18歳選挙権」の早期実現を求める意見書

「環境教育・学習推進法（仮称）」の早期制定を求める意見書

「障害者差別禁止法（仮称）」の早期制定を求める意見書
「都市基盤整備公団賃貸住宅の新規修繕等」を求める意見書

【可決 賛成多数】
国から地方への税源移譲を求める意見書

【否決】
健保本人3割負担の凍結を求める意見書

議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●平成15年度和泉市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決 賛成多数
●平成15年度和泉市国民健康保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 賛成多数
●平成15年度和泉市老人保健事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 賛成多数
●平成15年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 全会一致
●平成15年度和泉市公共下水道事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 全会一致
●平成15年度和泉市市街地再開発事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 全会一致
●平成15年度和泉市介護保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 賛成多数
●平成15年度和泉市水道事業会計予算	予算審査特別委員会	可決 全会一致
●平成15年度和泉市病院事業会計予算	予算審査特別委員会	可決 全会一致
●土地改良事業の施行について（袋池改修工事）	予算審査特別委員会	可決 全会一致
●和泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	予算審査特別委員会	可決 賛成多数
●和泉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	予算審査特別委員会	可決 賛成多数
●財産取得について（黒島山公園用地）	産業建設常任委員会	可決 全会一致
●和泉市保育所設置条例の一部を改正する条例制定について	民生企業常任委員会	可決 賛成多数
その他、議案6件、監査報告10件、報告1件、決議・意見書7件が可決等されました。		

予算審査 特別委員会

予算審査特別委員会が3月6日から5日間にわたり開催され、平成15年度各会計予算及び予算関連議案13件が慎重に審査されました。

3月25日の本会議では委員長の審査報告を受け、一部の議案については反対・賛成討論が行われましたが、すべて原案どおり可決されました(各予算の審査結果は3頁に掲載)。

委員名

- () は委員長、 () は副委員長
- 井坂 善行 吉川 茂樹
- 矢竹 輝久 原口 裕見
- 小泉 政一 赤阪 和見
- 山本 秀明 辻 宏康
- 若浜記久男 柏 富久蔵
- 上田 育子 天堀 博
- 森 悦造

●反対討論●

乳幼児医療費助成の1歳引き上げ、学校職員室へのエアコンの設置をはじめ、当議員団がかねてから要望してきた予算措置がされるとともに、同地区の地区協議会助成金が廃止され、一定評価できる。しかし、市民の内心の自由にかかわる人権啓発・研修事業などが引き続きNPO法人ダツシユに委託され、また、新たに設立する和泉市人権協会に対する助成金も計上されている。この人権協会は行政の補助促進機関として位置づけられるが、その事務局長に、NPO法人ダツシユの理事長であり部落解放同盟和泉支部の幹部が当たることが明らかになった。この人権協会がどのような人権問題にかかわるのか、行政の主体性が保たれるのか、甚だ疑問である。そのほか、公立保育所の民営化にかかわる予算計上、第3子以降出産祝い金の廃止、市民会館の使用料の歳入計上がされていなかった等の問題があり、本一般会計予算に反対する。

一般会計に対する討論

デフレ不況の先行き不透明な経済状況の下、地方財政制度の見直しが進み、市を取り巻く財政環境は非常に厳しい状況である。このような中、第3次和泉市総合計画に掲げる「豊かさを共有する人間都市・和泉」の実現に向けて、和泉シテイプラザがいよいよ開設の運びとなり、生涯学習環境の飛躍的な向上が図られることをはじめ、都市基盤の整備、少子・高齢化や環境問題への対応、市民の安全対策や地域経済活

●賛成討論●

性化、雇用対策の推進など、ハード・ソフト両面にわたる施策が推進されている。また、効果的・効果的な予算配分を行うとともに、事務事業の見直しなど、市民サービスの向上を図るため、創意と工夫をこらした予算措置が行われており、一般会計予算について評価する。なお、今後は財政の健全化を図るため行財政改革に積極的に取り組み、市民サービスの低下を招くことなく地方分権社会にふさわしい行財政運営が図られるよう望む。

予算審査特別委員会での質問

ここでは紙面の都合上、質問項目の一部を掲載しています。

- 市民まつりについて
- 北部コミュニティセンター運営内容について
- 戸籍住民基本台帳のシステム対策について
- 和泉市バス路線維持費の今後の対策について
- 行政評価システム構築の内容と目的について
- 和泉市人権協会と市の関係について
- 安全なまちづくり推進協議会の内容について
- ペットボトルのリサイクル活動について
- 合併浄化槽維持管理費の費用内容について
- 粗大ごみ電話受付業務委託について
- 新築霊園の業務内容について
- 地域福祉計画の業務内容について
- 生活福祉支援助金貸付の業務内容について
- 就労困難者等求職活動援助について
- 府中駅前活性化の事業について
- 産地中小企業振興対策について
- 空き店舗活用促進事業について
- 商業活性化推進事業の内容と目的について
- 和泉中央線渋滞対策について
- 太鼓振興事業実行委員会の内容について
- 和泉シテイプラザの運営委託内容について
- 学校の大規模工事の今後の計画について
- 子ども電話相談の内容について
- 公共施設の公共下水道接続について
- 文化振興事業の事業内容について
- 市税の減収について
- 総合健康指導事業委託の内容について
- 公共下水道の進捗について
- 下水道特別会計の中期財政見通しについて
- 介護保険料の算定方法及び引き上げ額について
- 災害時の応急給水の内容について
- 女性専門外来の態勢について

常任委員会 審査報告

3月定例会に上程された議案は各所管委員会で審査が行われ、3月25日の本会議において一部の議案については反対討論の後、全て原案どおり可決されました。ここでは紙面の都合上、それぞれの委員会での質疑の一部を掲載します。

民生企業委員会

和泉市保育所設置条例の一部を改正する条例制定について

【委員】12年度で超過負担24億円と聞いているが、今後の見通しを伺いたい。
【理事者】13年度決算における超過負担額は、総額約27億4千万円。今後は民営化を図り総合的な子育て支援施策を推進してまいりたい。
【委員】過渡期の財政負担があるが長い目で見れば先取りしていくという意味で賛成するが、反対があるこ

とに懸念する。

【理事者】現在、和泉市は公立園19園、民間園6園で公立園が多。又、超過負担を税の持ち出しで補っている状況である。行政水準を高めていく立場からも民営化を図っていきたい。
【委員】民営化した場合の負担額は。このまま公立で退職者を新人職員で補充すれば経費が下がるのではないかと。
【理事者】民営化した場合、国、府、市の負担は合計約1億3千万円。うち市負担は5千2百万円。職員採用により一時的に平均賃金は下がるが、超過負担の解消にはならない。
【委員】民営化する園をなぜ申込み前に公表しなかったのか。
【理事者】14年2月と10月に各4回、全保護者を対象に説明会を開催し理解と協力を求めた。又、和泉市立保育所移管選考委員会を立ち上げ、計7

回開催する中で、15年3月議会に上程することを決定した。1年かけて保護者の方々の要望に対応していききたい。
【委員】3月議会に上程することは、市の都合であって、父兄には関係ない。時間は充分あったのではないかと。延期、撤回等を含め、市民と話し合うべきである。
【委員】以前から信太第一保育園を総合園化するように要望してきた。
【理事者】総合園化を公立で実施することは新たな超過負担を招き、困難である。
【委員】総合園化を望む保護者が沢山いる。反対運動からの意見を聞くことによりサービス向上に努めてほしい。
【委員】公立園の意義をどこにおいているのか。
【理事者】市全体の利用者ニーズにどう応えていくか、今後も公立保育園のあり方について検討してまいりたい。

総務文教委員会

平成14年度和泉市一般会計補正予算
(第4号)

【委員】企画費の電算管理費の中に新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業補助金とあるが、これは今回だけでなく、ケーブルテレビが広がっていく中で今後必要なのか。
【理事者】市内全域にケーブル敷設工事を考えており、今回の補正予算で市内の約70%がカバーできる。残りの敷設についても、国の補助事業を活用しながらエリアを拡大していきたい。
【委員】今回、国・府の支出金1千7百万円、市から百万円という負担だが、今後もこの負担割合は変わらないのか。これ以上の市の持ち出しは抑えるべきだと考えるが、これからの財政的な負担について伺いたい。
【理事者】補助事業を受ける際に、事業採択の判断材料として、市の協力姿勢が審査されるため、市も一定の補助を行っていききたい。補助の金額については、府、近畿総合通信管理局等の意見を聞きながら決定していきたい。

産業建設委員会

財産取得について
(黒鳥山公園用地)

【委員】進捗状況を聞きたい。
【理事者】計画決定面積12・8haのうち、11・3haの事業認可を取得し、7・2haの供用開始を行い、市民の方々に利用して頂いている。用地の取得状況は、12・8haのうち、約11haを取得しており、残り1・8haの取得に努めている。
【委員】今回取得した用地の利用計画を伺いたい。
【理事者】今回の取得に当たり導入した都市開発資金は、4年据え置き10年償還となる。
【委員】進捗状況を聞きたい。
【理事者】黒鳥山公園の今後の方向性、具体的な整備状況を伺いたい。
【理事者】現在、今池に水生植物等の植栽を行い、デッキ等を含めて整備を行っている。今後、補助事業を導入しながら順次進めてまいりたい。

一般質問



今定例会では6人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。
ここでは紙面の都合上、一部要約して掲載しています。

トリヴェール和泉における

公園・緑地計画と
学校計画について

【議員】平成18年が最終事業年度であるトリヴェール和泉開発事業は、土地利用計画が最終見直しの時期に来ているが、予定と現況を尋ねる。

【理事者】昭和59年に都市計画決定し現在まで2度の変更を行っているが、その間の社会経済状況の変化により平成15年の早い時期に公園より変更案が示される予定。

【議員】特に東部地区の公園緑地計画についての考えは。

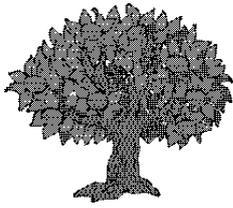
【理事者】地区公園、近隣公園、街区公園、緑地を住民の適切な誘致圏を考慮して設けた。

【議員】小学校2校・中学校1校の計画が小学校1校に変更

される。就学区域、通学路はどうか。

【理事者】児童発生率の変化により新設小学校と南池田中学校で対応。事務局案では、はつが野・青葉台・松風台を校区と考える。通学路は安全性を考慮の上、開校時に示す予定。

【議員】青葉台から新設小学校には元々適切な道がない。小学校付近には老人集会所や幼稚園も作られ、同じ校区として1つのコミュニティを形成するために、中央に安全な良い通学路が必要である。



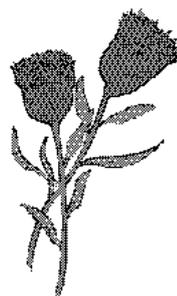
歳出削減等について

【議員】現在、職員の退職時に退職手当10%上乘せや特別昇給等を行っているが、見直しの考えは。又、職員の健康保険和泉市負担は70%で、年収1,100万円の部長級と国民健康保険加入者230万円の所得者と同じ保険料であり、5倍もの格差がある。見直しの検討は。市民健康診査

に受益者負担の考え、郵便物へのバーコード添付、印刷物へのコスト表記、選挙事務に民間活力導入の考えを聞く。

【理事者】退職金については法の改正と国の動向を見る。健保の本人と事業者負担は3対7で負担割合が大きいのは事実だ。指摘の趣旨を健保組合に伝えていく。健康審査は受診率向上が当面の目標のため有料化は現在考えていない。コスト表記は今後の研究課題とする。郵便物のバーコードは、経費節減となるよう

対応を図る。選挙事務は今後アルバイトを2、3名に段階的に増員し、更に検討する。



パートタイム労働者の 均等待遇についての 市のアドバイスは

【議員】当市議会では全国ではじめて、ILOのパートタイム労働条約を批准し均等待遇を実現し、国内法を変えて

欲しいとの意見書を全会派一致で採択し、又、前回の議会で2度目の採択を行った。国際的な働く人たちの人権基準であるILO条約では、職務が同じなら時間当たり賃金は

同等にすべきとされている。市の労働相談では、均等待遇や均等待遇について、又、法律できつちり定められていない中で、労使の話し合いについてどのようなアドバイスをしているのか。

【理事者】法は正社員と同じ条件の仕事をしているパートタイマーには正社員と同じ処遇をするよう、同じ条件でない場合でも事業主はその就業の実態、通常の労働者との均衡を考慮して適正な労働条件を確保するよう努めなければ

ならないとされている。ひとりで解決するのが困難なものや法律に違反している場合、労働基準監督署やひとりでも入れる労働組合の紹介を行っている。



【議員】パートの権利を周知徹底され、労働相談をさらに充実して欲しい。

市発注工事入札の適正化

【議員】市発注工事入札の適正化については、以前から指摘し、平成14年度からは最低制限価格の事前公表が実施されているにもかかわらず、2月までの11ヶ月間の実績では、設計金額に対して落札額が93・6%と高値落札が依然と

して行われている。設計金額と最低制限価格とでは78・9%で、契約額と最低制限価格との差金が、4億5200万円にもなり、仮に平均90%で落札されれば、単純計算で約1億1200万円、85%なら、約2億6500万円の差金となる。

物品購入や他の契約及び人件費を含め、すべての事について節約や削減をしているのに、この件について『聖域』にして行われている。他市で落札率の低い所は、市外業者の参入を実施している。市内業者育成も大事だが、これ程改善されないのなら、一定額以上の入札については、市外業者参入も考える必要があるのでは。

【理事者】ご指摘、ご意見は十分お聞きし、業者には、最低制限価格の事前公表の主旨をより一層強く求めていく。

【議員】暫く状況を見守る。

米粉普及と

食品表示監視体制について

【議員】パンや麺などへの米粉の活用が注目されている。我が国の今日的な農業問題となっている米の消費拡大や、食料自給率向上等においても、米粉普及を推進すべきでは。

【議員】食品の偽装表示等、許し難い実態がある中、減農薬、減化学肥料栽培などで、環境に配慮した農業を目指し、エコ農産物認証制度を発足したが、和泉市における食品表示監視体制は十分か。

【理事者】本市は、府下でもいち早く和泉市エコ農産物推進協議会を設置し、消費者が購入時に目安とする生産履歴の記入や現

の啓発等を段階的に進めて参りたい。

【議員】警察署等関係機関、庁内関係課と協議連携を充分に図り一日も早い制定をお願いしたい。

放置車両に関する条例制定について

【議員】放置車両に関する条例制定に向けての取組状況について関係課に伺いたい。

【理事者】平成14年第2回定例会において、指摘を受け、「処理の迅速化」と「厳しい罰則」を盛り込んだ条例制定に向けての取組状況だが、以後多方面にわたり検討する中で、まず「処理の迅速化」について、和泉警察署を通じて大阪府警本部と協議を始めたところである。その協議内容は、現在、放置車両を発見してから処理するまで、所有者

照会」等手続きに長い時間を要しているが、今回の協議が成立すれば、陸運局の「登録照会」に改めることで一週間程度の短縮が見込めるといふものである。また、道路法において経済価値がなく、明らかに「廃棄」されたと認められる物件はゴミとして通常の「清掃」により処理して差し支えないとされているので、これらの件についても協議を始めている。これらの協議が成立すれば条例制定に向けて具体案を作成していく。

【議員】警察署等関係機関、庁内関係課と協議連携を充分に図り一日も早い制定をお願いしたい。

その他の質問事項

- 和泉市税徴収率について
- 自然学習館又は自然資料館新設について
- 小学校英語教育の導入について
- 平和を求める社会環境づくりについて
- 中期財政見通しについて
- 槇尾川ダムについて
- 市の職員における正規職員と非正規職員の均等待遇の考え方について
- 市の職員のポジティブアクションについて
- 労働者人権教育に対する市の考え方について
- 各種審議会のあり方について
- 行政側委員について
- 市から給与を支弁されている者について
- 議会の独立とチェック機関としての位置づけについて
- 「第三子出生児」への祝い金廃止について
- 総合的子育て支援対策が出来ているのか
- 「再構築」とは
- 子育て支援について
- 市民サービスについて
- 農業活性化
- 東部農用地整備事業の進捗状況
- 学校図書の実態
- 読書時間実施と名作集活用
- 市立図書館と学校図書館のネットワーク



1*市議会ホームページを開設

和泉市のホームページ内に市議会のページを開設し、本紙で省略されている議決結果の全一覧表、意見書の全文等を掲載しています。

和泉市ホームページアドレス

<http://www.city.izumi.osaka.jp>

2*「市議会だより」にご意見 ご感想をお寄せください

読みやすく親しみやすい「市議会だより」の紙面づくりのために、皆さまのご意見をはがきやFAX、E-mail等でお寄せください。

〒594-8501 和泉市役所 議会事務局

電話41・1551(内線1722)

FAX43・4525

E-mail: community@city.izumi.osaka.jp

定例会の詳しい内容は会議録で

市議会では、定例会毎に「会議録」を作成しています。

会議録は市議会事務局や市政情報コーナー、市立図書館で自由に閲覧できます。

なお、3月定例会の会議録は6月中旬に完成の予定です。

致します。
りますので、ご愛読の程よろしくお願
い
せするため編集委員一同がんばってま
い
今後も市民の皆様には議会活動をお知
ら
が起らないよう願うものであります。
結果であります。二度とこのようなこ
と
したが、開戦となつてしまい誠に残念な
決を求める決議」を全会一致で可決しま
した。新緑が美しく、空には鯉の
ぼりが気持ちよく泳いでおり、
清々しい季節となつてきまし
た。

編集後記



今定例会では、「イラク問題の平和的解
決を求める決議」を全会一致で可決しま
した。新緑が美しく、空には鯉の
ぼりが気持ちよく泳いでおり、
清々しい季節となつてきまし
た。



傍聴してみませんか



傍聴席からの議場風景

議会では、市民の皆さまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくためにも、ぜひ傍聴してください。

傍聴は、備え付けの傍聴券にご住所、お名前等を記入するだけで簡単にできます。

場所：議場 本館3階

(入口は本館2階資産税課横)

：委員会室 別館3階

定員：議場 40席

(車いすスペース3台分)

：委員会室 7席

いずれも、開会予定時刻の15分前から先着順に入室できますが、定員を超える場合は抽選となりますのでご了承ください。

なお、平成15年第2回定例会は、次の日程で開催される予定です。議事の都合により日程が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

電話 41 - 1551 (内線1722)

第2回 定例会の予定

日程	会議	場所	時間
6月16日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後1時~
6月23日(月)	本会議(議案審議)	議場	午前10時~
6月24日(火)	民生企業委員会	委員会室	午前10時~
6月25日(水)	産業建設委員会	委員会室	午前10時~
6月26日(木)	総務文教委員会	委員会室	午前10時~
6月27日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時~
7月2日(水)	本会議(一般質問)	議場	午前10時~
7月3日(木)	本会議(一般質問)	議場	午前10時~
7月4日(金)	本会議(議案審議)	議場	午前10時~



TED WITH
YINK